

【解説】世界アーカイブ宣言

2010年9月17日、「世界アーカイブ宣言」(英語表記: Universal Declaration on Archives, UDA) が、ICA 円卓会議オスロ大会で満場一致で採択された。前年のマルタ大会で、細かい文言などをめぐり基本の方針のみ承認された宣言が正式に承認されたのである。この宣言は、現在、公式に ICA の唱える方針の中心的な柱の一つと位置づけられた。

宣言案は、全史料協も所属する ICA 専門家団体部会 (ICA/SPA) によって起草された。これは、ICA 円卓会議ケベック大会(2007 年 11 月)で、ケベックアーキビスト協会によって取りまとめられた「ケベックアーカイブ宣言」に触発され、同宣言をモデルにしている。なお、宣言では、アーカイブの特質と、記録が必要とされる限り続くアクセスを提供するための管理要件が、簡潔に提示されている。また、アーカイブとその専門家を支援するために、広く一般に向けてアーカイブを周知し、広報宣伝するための基本文書として考えられている。

参考：

<http://www.ica.org/6573/reference-documents/universal-declaration-on-archives.html>

注)

ICA (国際文書館評議会) は、世界 190 カ国の国の文書資料保存機関や専門家団体等が加盟する国際 NGO であり、ユネスコの諮問機関の資格をもつ。本部はユネスコ本部と同じくパリにある。4 年に 1 度オリンピックの年に、世界の文書資料保存関係者が一堂に会する大規模な大会を開き、最高議決機関である総会が同時におこなわれる。それ以外の年には毎年、加盟各国の国立公文書館長や専門家団体の代表者による国際文書館評議会円卓会議 (CITRA) が各国持ち回りで開催され、専門的な討論と共に、実質的な年次運営会合をおこなっている。

ICA の会員は、A：国を代表する文書館、B：全国的な文書館専門家団体、C：文書館及文書館関係機関などから構成されている。総会の議決権は、A会員とB会員が1票ずつ持ち、全史料協はB会員として登録されている。

全史料協の所属する SPA (専門家団体部会 Section For Professional Associations) は 1976 年、会員の関心、要請に応じて設けられた最初の専門部会の一つである。同年に発足したのは SIO(国際機関アーカイブ部会) と SPA の二つの専門部会であった。